

自衛隊中央病院特記仕様書	
名 称	血液照射室改修工事
仕様書番号	CH-KS-017
作成年月日	令和7年4月2日
調達要求番号	51331AR0002
作成部課名	総務部管理課

## 1 工事概要

- (1) 建築工事  
間仕切り改修 一式
- (2) 電気設備工事  
分電盤等改修 一式
- (3) 機械設備工事  
給排水管改修、空調工事 一式

## 2 工事期間

契約締結日～令和7年9月30日(火)、施工については令和7年8月31日(月)までに完了とする。

## 3 工事場所

東京都世田谷区池尻1-2-24 自衛隊中央病院  
#53病院 2階 血液照射室

## 4 一般事項

- (1) 総 則  
本特記仕様書は、血液照射室改修工事について適用する。
- (2) 施 工  
本特記仕様書及び図面に記載なき事項は、下記に示すもの及び関係法令等に基づき実施すること。  
ア 公共建築工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編）現行版  
イ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編）現行版  
ウ 建築改修工事監理指針 現行版  
エ 電気設備工事監理指針 現行版  
オ 機械設備工事監理指針 現行版
- (3) 疑 義  
本仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに監督官と協議すること。

(4) 軽微な設計変更

施工に際して、現場の納まり状況等により軽微な変更が生じた場合には、監督官と協議の上、その指示に従うものとする。なお、この変更等に伴う請負金額の変更及び工期の変更については行わないものとする。

(5) 打合せ簿の作成

作業を適正且つ円滑に実施する為、請負業者は監督官と常に連絡を取り、施工方針及び条件等の疑義を正すものとし、その打合せ内容については、その実施の都度、請負業者が打合せ簿（官側指定様式）を作成し、相互に確認保存すること。軽微な設計変更等があった場合にも作成すること。

(6) 材 料

本工事で必要な資材、消耗品等は請負業者において用意すること。また、資材等は JIS 及び JWVA 規格に適合するものを使用するとともに仮設材以外すべて新品とする。

(7) 材料検査

すべての材料は、工事現場に搬入後、監督官の材料検査を受け、合格したものを使用する。

(8) 技能資格者等

作業の実施において、法令又は製造業者等の品質保証上、有資格者又は技能者による施工が義務付けられている作業については、有資格者により作業を行うとともに、資格書等の写しを提出すること。

(9) 現場管理

ア 建築基準法、労働安全衛生法及びその他関係法令に基づき、工事中における火災予防、労働安全並びに在来施設等の保護には、十分注意を払うものとし、一切の責任は請負業者が負うものとする。

イ 出入口、その他危険性のある場所には危険表示等の処置を行う。

ウ 工事場所及び立入許可された場所以外への無断立入を禁止する。その他官側の規則に従う。

エ 工事の実施に際して施設へ損傷を与えた場合は、監督官へ速やかに報告を行うとともに、請負業者の責任において原状回復を行うこと。

オ 工事実施の際に騒音が発生する作業がある場合は、事前に監督官へ通知し、指示を受けた日時で作業を行うこと。また、騒音が発生する作業で同一工種のものについては、極力取りまとめて作業を行うものとする。

(10) 提出書類

官側の示す様式により、監督官の指示するものを遅滞なく作成し、提出すること。

(11) 工事写真

工事写真については、工事前、中、後を工程毎に努めて同じ角度からブレ等が無いように撮影する他、隠蔽となる部分及び材料搬入状況（※数量及び規格等が判別可能なもの）、廃棄物処分状況、監督官が指示する部分等の実施状況を撮影し、完了後、関係書類とともに完了検査前までに整理し監督官へ提出すること。

(12) 発生材等の処理

本工事で発生した金属類（鉄・銅・ステンレス等）の廃材については、発生材調書を作成及び提出するとともに、官側の指定する場所に集積する。その他は請負業者の責任において合法的に処分する。

産業廃棄物の処理については、請負業者において適切に処分すること。処分の際、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写しを納期限内に提出すること。

(13) 清掃

施工完了後、工事現場の清掃・後片付けを実施する。

(14) 検査

全ての作業が完了した後、監督官へ竣工検査届を提出し、検査官の完成検査を受けること。完成検査については、設計図書等に基づき完成物件の確認及び関係書類の確認を実施する。

(15) 保証

本工事の保証期間は、工事完成検査後1カ年とする。

(16) 統制事項等

ア 本工事は原則として、平日の8時30分から17時15分までの間で実施すること。やむを得ず土、日、祝日及び時間外の作業が必要となる場合は事前に監督官と協議すること。

イ 駐屯地内は、指定場所を除き、全域禁煙とする。

ウ 本工事で使用する電気・水については、請負業者において用意すること。駐屯地内の電源・水源から取得する場合は、使用量が分かるようにメーターを設置すること。清掃等に使用する必要最低限の電気・水については、官側から提供する。

エ その他、本仕様書に記載なき事項であっても、当然実施すべき箇所については、実施すること。

オ 院内においては不織布マスクを基準としてマスク着用を厳守すること。

カ 本工事間、病院内においては工事件名・業者名を記載した腕章又はIDパスケースを見える位置に装着すること。

5 特記事項

(1) 建築工事

ア 既存の間仕切りを撤去し、新たに間仕切りを設ける際には隣接区画と収まりよく施工すること。

イ ドア設置部の床は沓摺等で段差を設けることなく施工すること。

(2) 電気設備工事

ア 照明及び表示灯はLEDに更新するとともに表示灯は機器の始動と同期するよう調整すること。

イ 分電盤の改修に必要な調整については納入業者と確実に確認・調整するとともに監督官の了承を得て取付けること。

(3) 機械設備工事

ア 給排水管の工事においては既存の給排水管を活用し床からの立上げは200mm以上確保すること。

イ 排水管は内径φ30mm以上を確保すること。

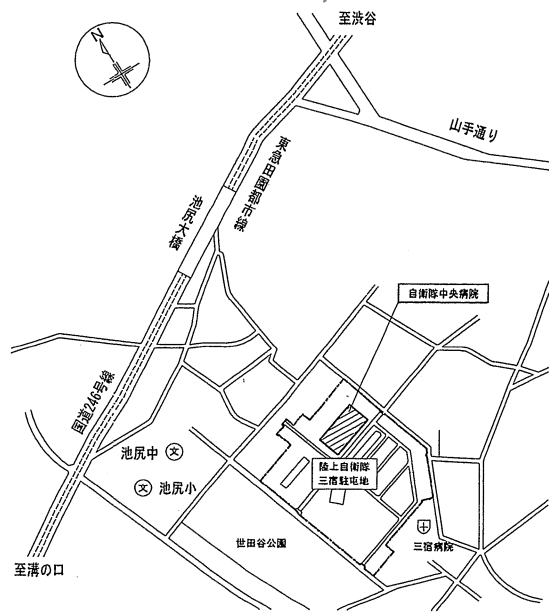
ウ 給水管を壁・天井に固定する際は、強度を考慮するとともに必要に応じて補強板により処置を実施すること。

(4) その他

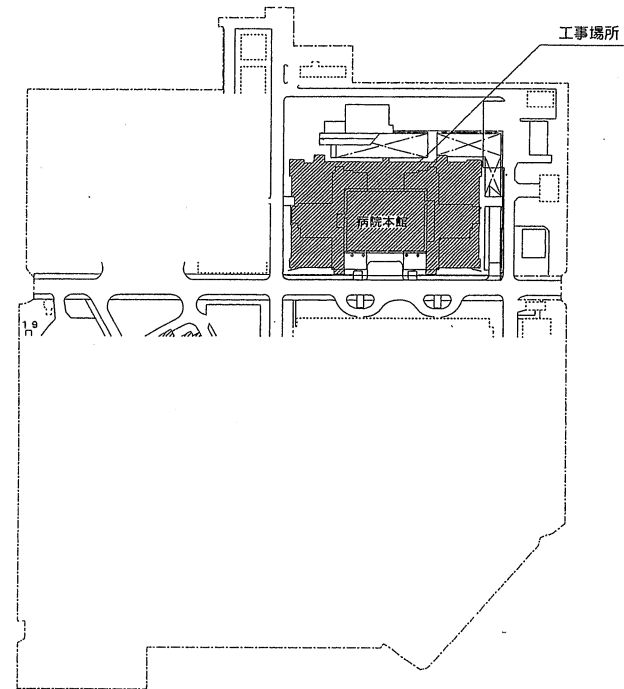
ア 本工事は旧機器を撤去するとともにX線照射装置を新設するための改修工事であることから医療機器納品業者と請負業者において綿密に調整するとともに監督官に報告・承認を受けた後に工事を行うこと

イ 医療業務の停止を伴う作業については監督官と協議すること。

名称	規格	数量	備考
X線照射装置	製造所：(株)富士フィルムヘルスケア 品名：X線照射装置SANGRAY	1式	

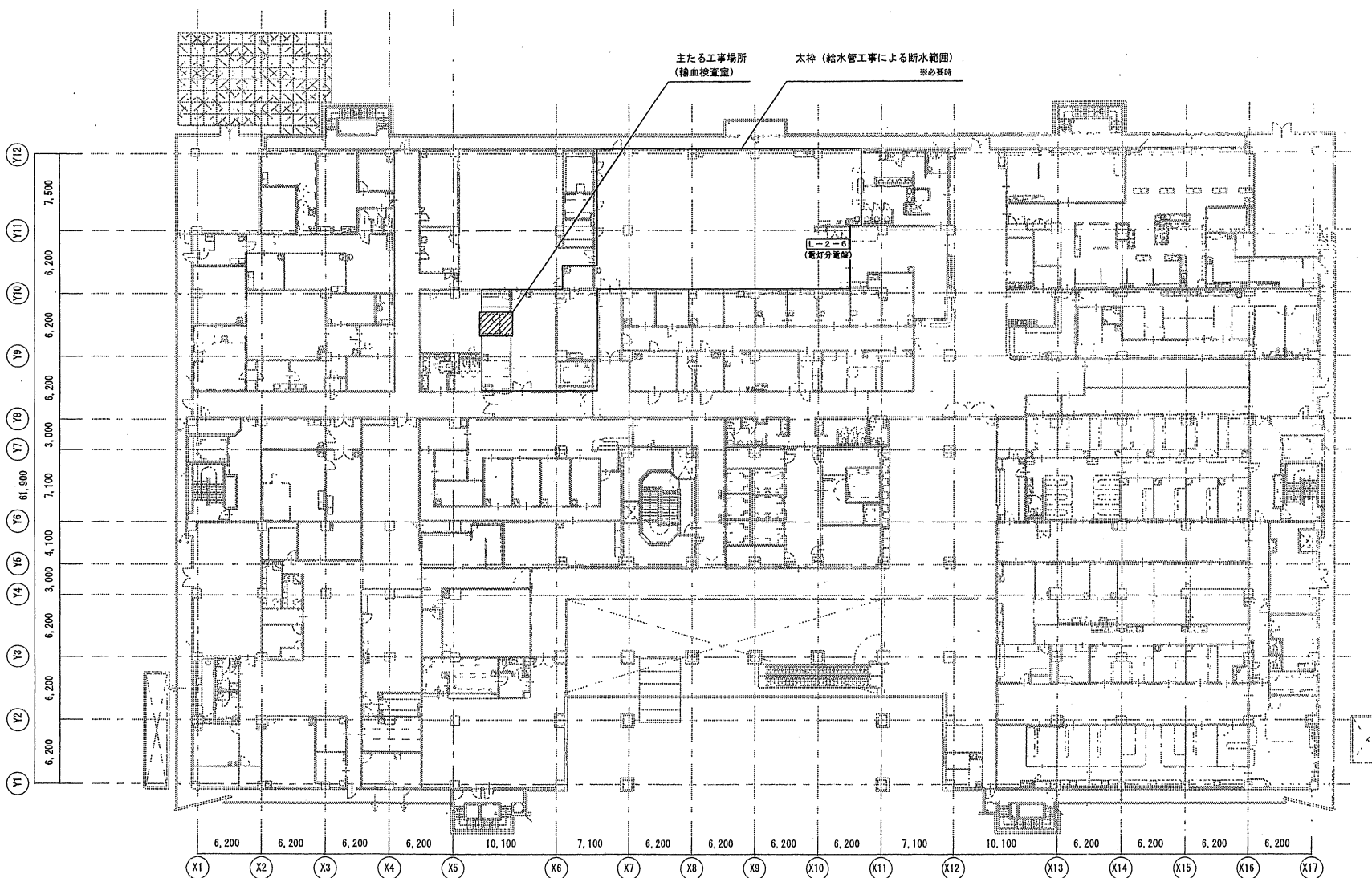


案内図



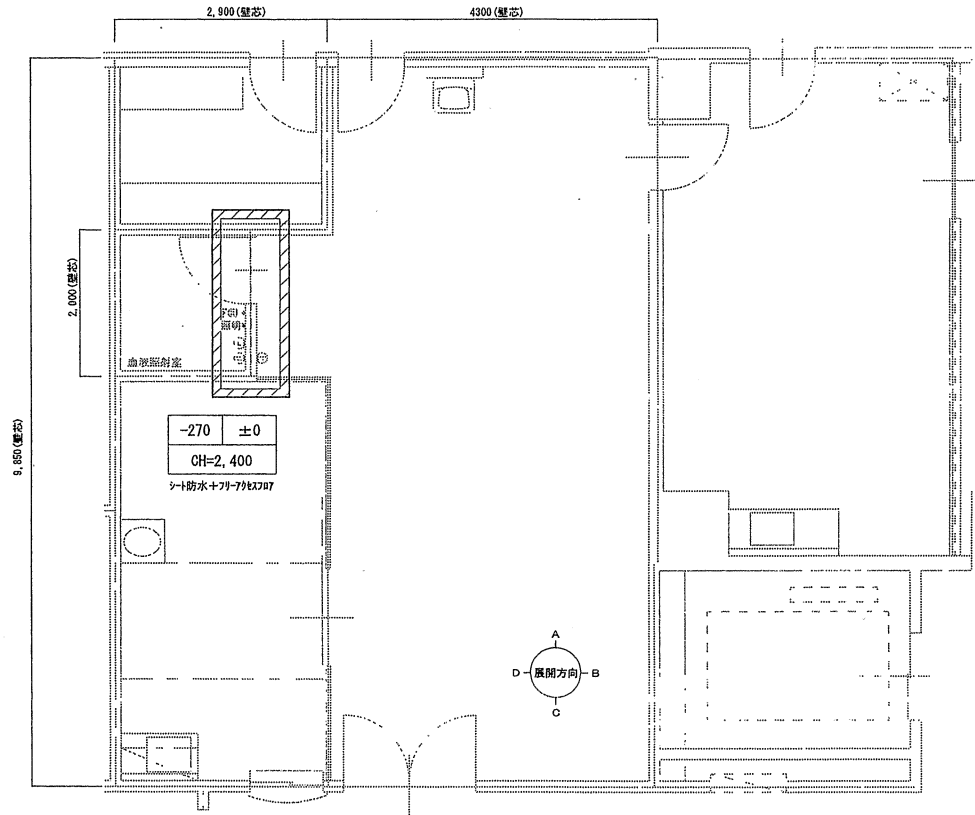
駐屯地配置図

件名	血液照射室改修工事	図面番号	1 / 7
図面名称	案内図 他	縮尺	S = 1 / X
自衛隊中央病院 総務部管理課			



■	コンクリート壁
—	鉄骨梁
—	構造用セメント区
■	コンクリートブロック壁

件名	血液照射室改修工事	図面番号	2 / 7
図面名称	病院2階平面図	縮尺	S = 1 / X
案内図他	自衛隊中央病院 総務部管理課		



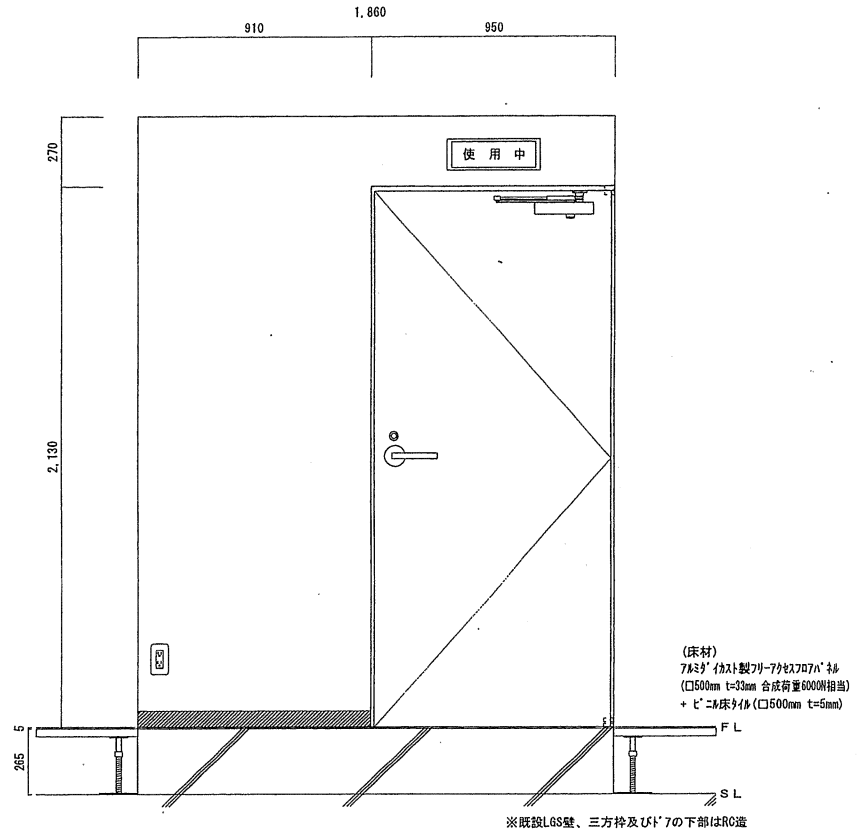
撤去平面図 S=1/70



種別	撤去部材	規格	数量	備考
建築	LGS壁	スチrod幅90mm + PB (12.5 + 9.5mm) 2重張り	2.44㎡	軽量下地含む
	鋼製三方枠	t=1.6mm 溶融亜鉛メッキ SOP仕上げ	1ヶ所	
	鋼製ド7	t=1.6mm 溶融亜鉛メッキ SOP仕上げ	1枚	キリッパグーのみ再利用(移設)
	sus製沓摺		1ヶ所	
	ソト幅木	65 × 950mm	1ヶ所	
電気・通信	表示灯	蛍光灯10W型	1個	「使用中」
	埋込接地ダブルコンセント	15A 125V	2個	1個再利用(移設)
	埋込スイッチB	15A 300V 片切	1個	再利用(移設)
	空調用デジタル設定器	材ハネ QY7205	1個	再利用(移設)
	LANコンセント	Cat5E 1個口	1個	再利用(移設)

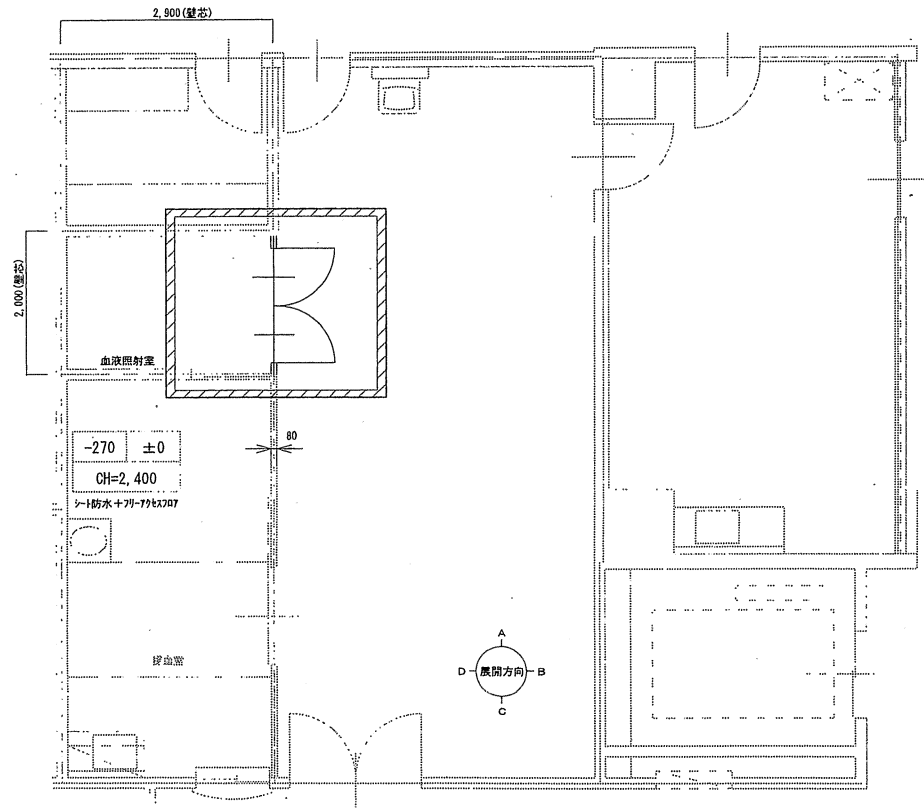
特記

——	コンクリート壁
-----	LGS壁
———	スチールパーティション
■	コンクリートブロック壁



D面立面図（改修前）S=1/20

件名	血液照射室改修工事	図面番号	3 / 7
図面名称	建築工事図(改修前)	縮尺	S = 1 / X
自衛隊中央病院 総務部管理課			



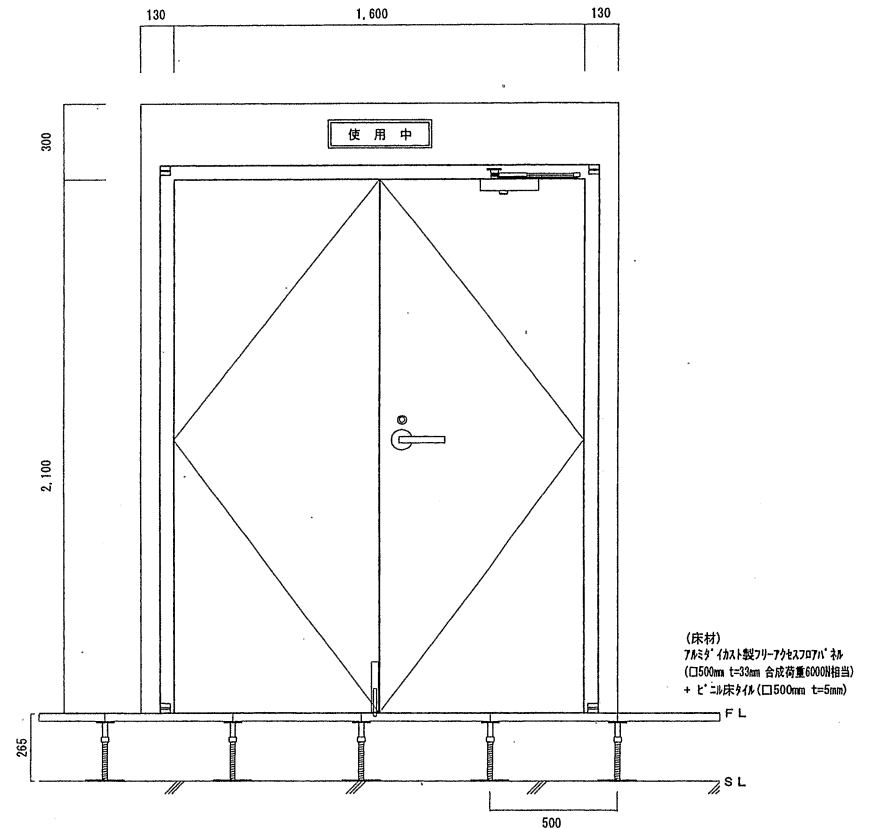
建築工事（改修後）平面図 S=1/70



種別	使用部材	規格	数量	備考
建築	スチールパーテーション	カー鋼板、両裏打ちPB 12.5mm	1.4㎡	色は既設（採血室）と同等
	同上三方枠		1ヶ所	
	軽量鋼製ドア	WD 800×2,100×40mm ビレット仕様 片側ドアー取付、フリス落とし取付	2枚	キッキングは既設再利用 ドアー用フリス材切削
電気	ビニル床タイル	□500 t=5mm		色柄は既設に近いもの
	表示灯	LMT-11917M-LS9 + LDM10SS-N + SN-101	1灯	「使用中」消し文字
作業の要求	・建具は事前に承認図を作成し、監督官の承認後に製作すること			
	・LGS壁とスチールパーテーションの接続部は見栄えの悪くならないよう取めること			
	・電気機器の移設に際し、配線の延長が必要な場合は天井内にシヤンションボックスなどを用いて結線すること			
	・LGS壁内の配線はPF管を用い、埋込器具の設置には後付けの埋込ボックスを用いるなどし塵埃対策をすること			

特記

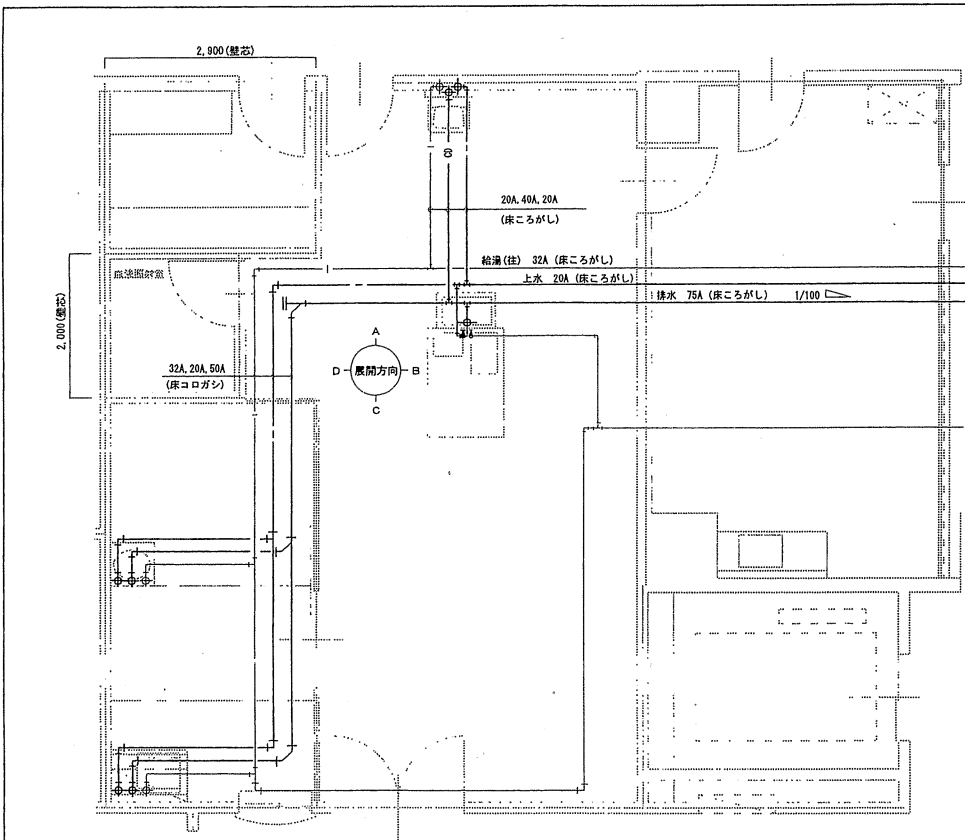
——	コンクリート壁
====	LGS壁
----	スチールパーテーション
■	コンクリートブロック壁



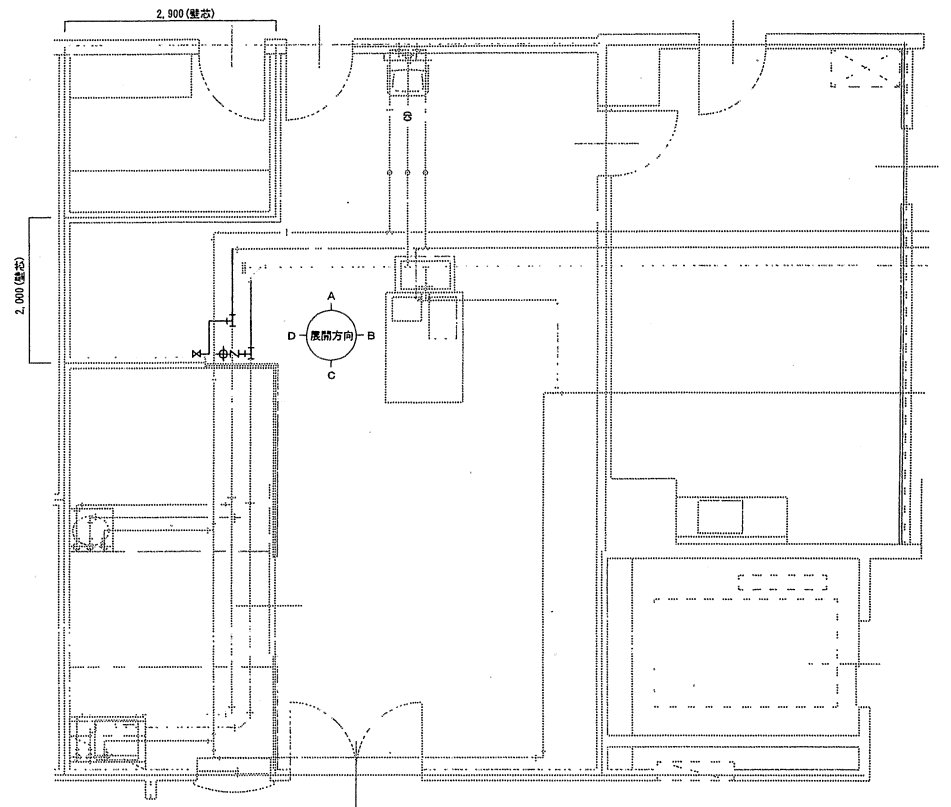
D面立面図（改修後）S=1/20

件名	血液照射室改修工事	図面番号	4 / 7
図面名称	建築工事図(改修後)	縮尺	S=1/X
自衛隊中央病院 総務部管理課			

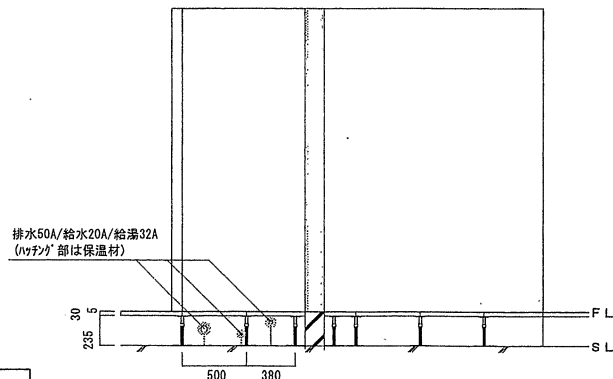




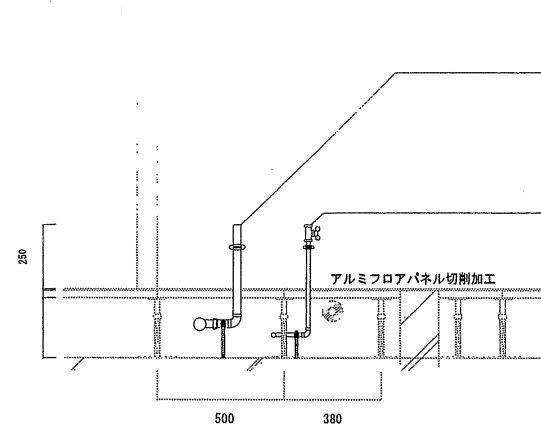
衛生工事平面図 (改修前) S=1/70



衛生工事平面図 (改修後) S=1/70



C面立面図 (改修前) S=1/40



C面立面図 (改修後) S=1/20

排水管工事

- ・VP50A-30A 分岐
- ・フローバンドで配管支持
- ・中間に逆止弁取り付け
- ・床下配管保温工
- ・縦管部の触れ止め取り付け

給水管工事

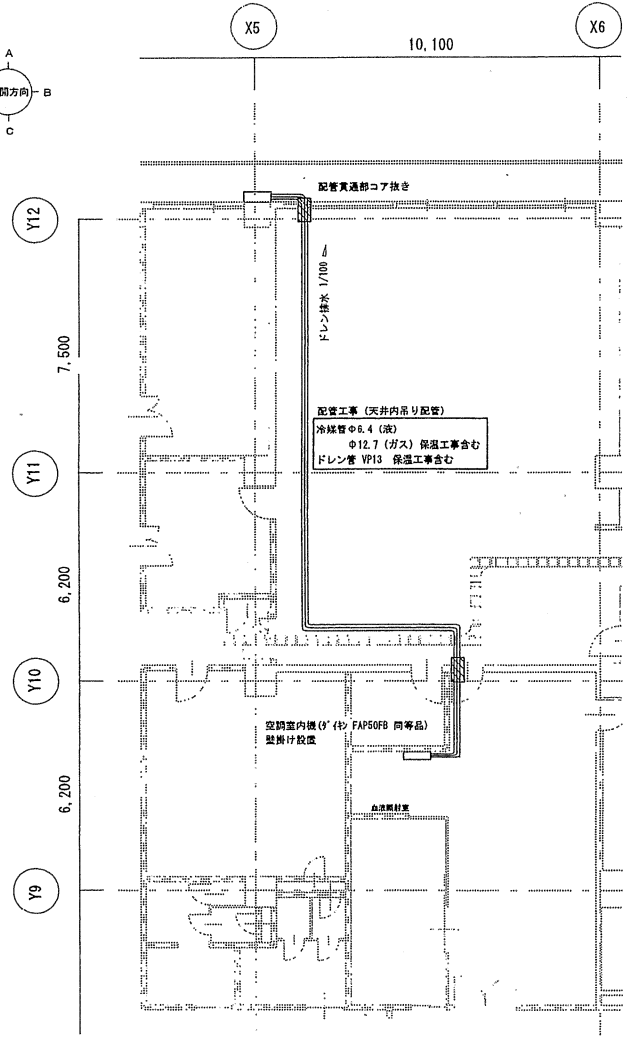
- ・SGP20A-15A異型チーズ分岐
- ・フローバンドで配管支持
- ・配管端部に玉型弁取り付け
- ・配管保温工 (井下部まで)
- ・縦管部の触れ止め取り付け

※給水管施工時、全体平面図に示す範囲が断水となるため、施工時間は監督官の指示による。  
また、復旧時には崩れによる赤水の漏水確認を実施すること。  
(上記については事前に充分打合せを実施するものとし、不測事態発生時も検討する。)

特記

——	コンクリート壁
——	LGS壁
——	スチールパーティション
——	コンクリートブロック壁

件名	血液照射室改修工事	図面番号	6 / 7
図面名称	機械設備工事図 (衛生)	縮尺	S=1 / X
自衛隊中央病院 総務部管理課			



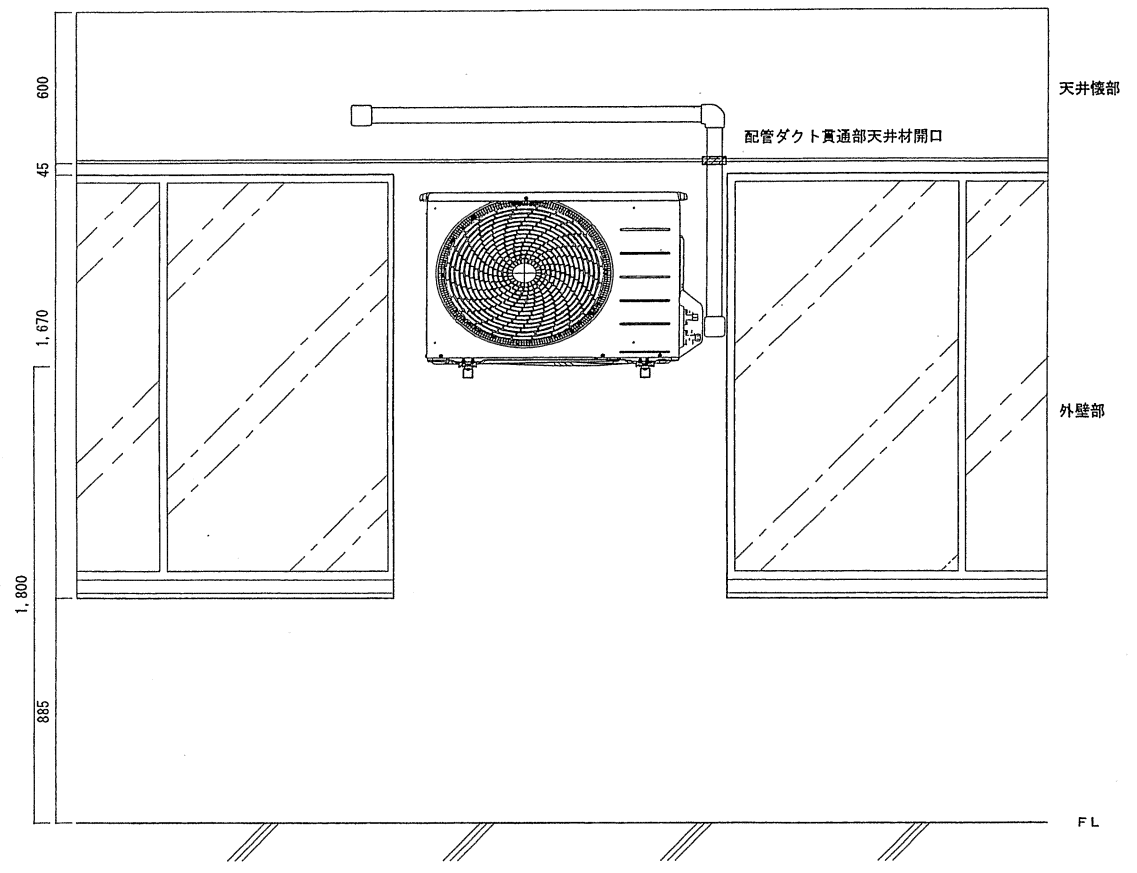
▨ : 防火区画貫通部

機械工事平面図 S=1/150

凡記  
 ———— コンクリート壁  
 ———— L65壁  
 ———— 押出成形セメント板  
 ■■■■■■ コンクリートブロック壁

空調機の設置条件

- ・室外機 (ガス RZRP50BYV 同等品)
- ・壁掛け設置 (機器下端でFL+1,600~1,800mmの範囲)
- ・ステンレス製壁掛金具 (防振ゴム付、汎用品) アンカー取付 (室外機重量に充分耐える強度のもの)



C面立面図 (改修後) S=1/20

件名	血液照射室改修工事	図面番号	7 / 7
図面名称	機械設備工事図 (空調)	縮尺	S = 1 / X
自衛隊中央病院 総務部管理課			